

＜相談支援部会：平成 2 5 年度事業計画の評価＞

1 - 1. 患者必携「地域の療養情」第 3 版の配布と普及活動を行う。

計 画：患者必携「地域の療養情」第 3 版を作成と配布を行い、配布後の調査を実施し冊子の更新や修正を含め、今後の対策を検討する。

実 績：昨年 3 月に完成した第 3 版を、沖縄県と共同でがん診療を専門に行っている医療機関、福祉保健所、市町村などに配布を行った。配布施設リストについては、別紙参照。また、がん専門医療機関 1 2 施設に部会員が赴き、ハンドブックの内容と活用方法についての説明会を実施した。さらに第 3 版に関するアンケート調査を行い、結果を改訂作業に活用した。

評 価： 10 点

次年度：第 4 版の発行に伴い、終了。

1 - 2. 患者必携 「地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック」第 4 版を作成する

実績：当部会が中心となり、患者必携「地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブック第 4 版」作成に向けた作業部会を立ち上げた。計 4 回の作業部会を実施（12 月現在までで計 3 回実施している）。完成は、3 月 3 1 日を予定している。

評価： 8 点

次年度：第 3 版に習い、関係機関への配布と普及活動を行う。また「患者必携 おきなわがんサポートハンドブック第 4 版」評価アンケートを実施する。

2. 相談支援センターに関するチラシ配布やラジオ番組の参加等、広報活動を行う。

実績：普及啓発部会と連携し、部会委員がラジオ番組へ出演し相談支援センターの利用やハンドブックの活用などの広報活動を実施した。また、ピアサロンやピアサポーター研修会等で、相談支援センターのチラシを配布した。

評価： 10 点

次年度：継続して広報活動を行い周知に努める。

3. ピアサポーター等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

計 画：働く世代や小児がん患者への支援の充実を図るために、関連施設と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

実 績：第 3 回がんピアサロンや平成 25 年度沖縄県地域統括相談支援センター主催がんピアサポート研修会に部会委員がファシリテーターまたはアドバイザーとして参加した。

評 価： 10 点

次年度：継続してがん患者の就労支援や小児がんサバイバーへの支援に取り組む。

4. 患者家族満足度調査実施し、分析結果の公開と、相談支援に活用する。

計 画：2013年9月までに予備調査（認知度）を終了する。2014年3月までに100人を対象とした本調査を実施する。

実 績：調査概要について再検討し、予備調査にあたる患者・家族の認知度調査シートについて検討を重ね作成中。

評 価： 3 点

次年度：認知度調査を実施し、その調査をもとに調査表の見直しや改良を行い、満足度調査（本調査）を実施する。

5. 相談内容の分析を行い、部会計画の改定等へ活用する。

計 画：2014年3月までに支援病院で相談シートを導入し、拠点・支援病院共通のがん相談集計シートを導入する。

実 績：4月と7月に開催した作業部会やメーリングリストを通して、現在使用している相談シートの集計項目の見直しと改訂を行い、「相談シート（統一版）」として3拠点病院で運用を開始した。部会での定期報告が可能となった。

評 価： 8 点

次年度：支援病院でも相談シート（統一版）の運用を開始し、相談支援部会での定期報告を行う。

6. がん相談員を対象とした研修会（地域の療養情報の配布方法を含む）を企画・開催する。

計 画：2014年3月までに各拠点病院主催で年3回実施し、100人の実務者が参加する。

実 績：6月に研修企画コアメンバーでのミーティングを開催し、通年したテーマと運営方法を検討した。各拠点病院で1回ずつの持ち回りとし、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会等の共催で研修会を3回開催した。

①県立中部病院主催 9月5日（木）

がん相談員実務者研修会『「がん治療」の今！～今がん治療はどこまで進んでいるのか、どう捉えて支援すれば良いか学べる～』

②琉球大学医学部附属病院 10月25日（金）

がん相談員実務者研修会「がん化学療法と患者支援」

③那覇市立病院主催 12月11日（水）

がん相談員実務者研修会「がん放射線療法と患者支援」

評 価： 10 点

次年度：引き続き、継続して研修会を行う。

7. 沖縄県がん相談支援センター相談マニュアル(小児がん対応用)を作成する

計 画：症例数の少ない小児がんに関する相談に対して、どの相談支援センターでも対応できるように、相談マニュアルを作成する。

実 績：作業部会を3回実施し、小児がんに関する相談マニュアルを作成中。今年度中に試作版を

完成する予定である。

評 価： 8 点

次年度：拠点病院・がん専門病院へマニュアルを配布し、試験的に運用を開始する。

8. 相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

計 画：部会委員が部会活動に関することを学会等で報告し、最新の情報を収集と、他県との情報交換を行う。

実 績：第 21 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会で部会活動の報告を行った。都道府県情報提供・相談支援部会へ参加し部会および協議会にて情報共有した。

評 価： 10 点

次年度：部会委員で発表が行えるよう、継続して取り組む。

9. 2012 年度に作成した周知用チェックリスト（下敷タイプ）の活用を促し、評価を行う。

計 画：2013 年 9 月までにチェックリストに関する評価アンケートを実施し、分析する。

実 績： 未実施

評 価： 0 点

次年度：事業計画の見直しを行う。

10. 県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成する。

計 画：セカンドオピニオンリストを更新し、協議会ホームページへ掲載する。

実 績：県内のがん診療医療機関へセカンドオピニオン体制に関する調査を行い、実施医療機関リストを 7 月に協議会ホームページにて公開した。

評 価： 10 点

次年度：終了。次年度も継続して行う。

11. 沖縄県へ相談員の適正配置を要望し、支援病院を中心に相談員の実務者研修参加を増加させる。

計 画：沖縄県へ配置についての要望書を提出し、支援病院へ実務者研修の参加を促す。

実 績：沖縄県への要望書は昨年度提出した。また、メーリングリストによる情報交換、研修会・研究会・講演会等参加を目的とした、がん相談員ネットワークリストを本年度内に作成する予定である。

評 価： 5 点

次年度：終了。次年度も継続し、リストの更新を行う。

平成 25 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 25 年 10 月 17 日（木）14：00～16：00

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：9 名 樋口美智子（那覇市立病院）、望月祥子（ハートライフ病院）、
仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、伊礼みゆき（居宅介護支援事業所なかがみ）
永吉美幸（県立南部医療センター・こども医療センター）、
上原弘美（沖縄県地域統括相談支援センター）、
石郷岡美穂、増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、

欠席者：3 名 吉本多佳子（沖縄県立中部病院）、宮良久美江（沖縄県立八重山病院）
奥濱杖子（県立宮古病院）

陪席者：3 名 小倉登茂子、青沼（県立宮古病院）、井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

【報告事項】

1. 平成 25 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

協議に先立ち、資料 1 に基づき、平成 25 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部
会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会について（7～9 月）

資料 2-1,2-2,2-3 に基づき、7～9 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく
会」の報告書について、確認が行われた。

3. がん相談件数（7～9 月）

資料 3-1,3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（7～9 月）に
ついて報告があった。中部病院より、ファイルメーカーを使用した新ファイルの提出があった。
大久保委員より、今後、分析項目を最終チェックし、琉大病院も揃えていくことが報告された。
宮古・八重山病院でも要望があれば、シートを送ることになった。

4. 各部会事業の進捗報告について

(1) 【施策 1 関連】地域の療養情報第 3 版の配布と普及啓発について・・・(資料 4)

資料 4 に基づき、大久保委員より、拠点・支援病院及び専門病院の説明会はほぼ修了してお
り、3 版の反応としては、写真や琉歌など概ね良好と聞いているが、「がん」の表記が気にな
る方や、支援病院の表記方法など、改善の余地もあるとの報告があった。樋口部会長より、浦
添総合病院より配布による不安軽減や評価はどうしているかとの質問が上がったとの報告も
あった。残りの 3 病院への説明会も、引き続き各担当部会員が日程調整後に行う。

(2) 【施策 1 関連】地域の療養情報第 4 版の作成と進捗状況(3 版のアンケート結果含む)につ
いて

資料 5 に基づき、樋口部会長より、3 版のアンケート結果について、有効回答の 45 枚が回
収され内容については「ちょうどよい」が 76%、内容が「とても役に立った」「少し役に立っ
た」があわせて 69%で概ね良好であったとの報告があった。

望月副部会長より、第 4 版の WG を 10 月 4 日に既に 1 回開き、各担当を割り振り、どこを編
集するか、追加や変更するところも検討した。内容の変更は「体験談」コラムの追加、「緩和
ケア」の説明をもう少し踏み込んでもいいのでは？などで、これから修正追加作業を進めてい

く。WGメンバーに、ケアマネジャーさんや患者さんも加わっていただくことができたとの報告があった。2回目WGは11月7日の予定。大久保委員からは、12月いっぱいテキスト入稿したいとの報告があった。上原委員より、療育手帳の内容を盛り込めないかとの意見や、手に取るガイド・私の療養手帳の購入に向けての広報が先決などの意見交換があった。発行部数は昨年同様の2万部、県からの予算も確保されていることが報告された。

(3) 【施策1関連】地域の療養情報第3版の残数アンケートについて

資料6に基づき、大久保委員より、病院62施設と市町村・図書館・保健所111施設、在宅支援・麻薬取扱薬局102施設にアンケートを行っている状況で、残数がどれくらいか？配布が有効だったか？などを調査し取りまとめ中である。反応としては、図書館は好意的であったが、薬局では両極端、病院ではもう在庫がないという回答が多数あったので、次年度の配布数は、今年度と同程度でよいだろうとの報告であった。樋口部会長より、2版はまだ県に在庫が1000冊程あるので、各病院とも配布用に使っていただきたいとの協力依頼があった。

(4) 【施策1関連】地域の療養情報第4版改訂のためのモニターアンケートについて

資料7に基づき、樋口部会長より、ハンドブック作成WGから各委員にモニターの依頼をしてアンケートを進めていくよう指示があった。

(5) 【施策2】がん相談支援センターの広報について（ラジオCM&特別番組）

別紙資料に基づき、石郷岡委員より、宮良先生が「乳がん」に特化した内容で話をされたのが3分の2くらい、吉本委員が相談支援センターの活用とかサポートハンドブックの広報をしてくれた。途中リスナーの方からの質問に関しては、宮良先生、吉本さんに振り分けて回答されていたとの報告があった。さらに、医師の場合は専門領域があるので、「がん検診」での大きなくくりでは難しい部分もあるのではないかとの意見があり、次年度に活そうということが協議された。

(6) 【施策3】働く世代や小児がん患者への支援の充実について

上原委員より、9/22の第3回小児がん経験者の交流会「Te-da わらばーむ」は、少人数だったが新規の方の参加もあり、いい会であった。次回は、11月開催予定で、しばらくは、クローズの会として、今年度いっぱい様子を見るとの報告があり、がんサポートハンドブックへの小児がん経験者の交流会の記載も検討することになった。石郷岡委員より、「Te-da わらばーむのママの会」や、「Te-da わらばーむの恋人の会」といった展開もおもしろいのではないかとの意見があった。

さらに、資料8に基づき上原委員より、10/13,14のがんピアサポート研修会について、19名の参加で15名が2日間受講しており、石垣島から5名もの参加をいただいたとの報告があった。1月19日に、国がんの高橋都先生による「がんと就労」についての講演会&カフェ形式の意見交換会を予定しているとの周知がされた。

(7) 【施策6】がん相談員実務者研修について（中部病院・琉大病院・那覇市立病院）

資料9-1に基づき、樋口部会長より、9/5中部病院主催の研修会が開催され、86人の参加があり、アンケートでもわかりやすく大変良かったとの感想があったとの報告があった。

資料9-2に基づき、大久保委員より10/25に琉大病院にて「がん化学療法」についての研修会を開催する予定であり、講師に琉大病院の認定看護師を招き、できればざわめきながらグループワークも行いたいとの周知があった。資料9-3に基づき、樋口部会長より、12月に「放射線療法」について那覇市立病院の足立医師、看護師の方を講師に放射線治療やケア、支援につ

いての研修会とグループワークも行う予定であるとの周知があった。

あと1回、「小児がんに関わる家族支援、その後の支援、就労支援とつなげて～」のテーマで開催を検討中であり、小児がんマニュアルWGメンバーにも意見をいただくことになった。

(8) 【施策8】 研修会報告(相談支援センター相談指導者フォローアップ研修 in 国がん)

9/6,7の両日に行われた相談指導者フォローアップ研修について、大久保委員より報告があった。資料10-1に基づき、「相談員の育成」における各県の取り組みの報告があり、沖縄県は3拠点病院の持ち回りで年3~4回開催してきたが、講義形式だけでなくグループワークも取り入れる等の改善が必要で、運営を担うファシリテーターの育成も急務であること、支援病院の指定要件制度の変更などによる拠点病院以外の相談員の育成のための研修会運営に、県のバックアップをいただきながら検討することを発表したとの報告があった。

また、資料10-2に基づき、「働くことをささえるために」をテーマに、講義やグループワーク、パネルディスカッションがあり、産業看護師、産業医、産業カウンセラー、社会保険労務士、患者支援団体など、多職種・多領域の連携による支援の必要性、県内での連携を深めるための活動状況把握や情報交換の場を検討する必要があることを認識したとの報告があった。

石郷岡委員より、「就労」とは「就活：新しく仕事を探す」イメージがあるが、がんと診断されても「仕事を辞めない」工夫という支援も必要、全国5ヶ所のモデル事業の紹介などの補足があった。樋口部会長からも、産業看護師の方から、がん患者さんは治療スケジュールが明確なので、仕事を続けていくための職場復帰への見通しや職場との調整がしやすく、情報提供もしやすいとの話もあったとの補足があった。

5. その他

【協議事項】

1. 平成25年度の部会事業の行動計画に基づく現状確認について

各主担当者より、以下のように進捗報告があった。

【施策1】 がんサポートハンドブック第4版は作成WGを進めており、年度内に発行予定。

【施策2】 ラジオ広報番組への出演修了。

【施策3】 小児がん交流会、ピアサポート研修会は修了、ご当地カフェは1/19に実施予定。

【施策4】 認知度満足度調査について、実施内容の検討を行い、フォーラム参加者などにプレ認知度調査を行う。

【施策5】 がん相談分析は、共通シートの運用を進めていく。

【施策6】 実務者研修会は、中部病院は9/5修了、琉大病院は10/25、那覇市立病院は12月、1月に小児がんについてのテーマで実施予定。1月実施分は、高橋都先生にもご講演等の調整を行う。

【施策7】 小児がん相談マニュアルは作成中。2月には何らかの成果を報告する。

【施策8】 5月都道府県情報提供・相談支援部会、7月社会福祉士学会発表、9月相談支援センター相談員フォローアップ研修会へ参加したとの活動報告あり。

【施策9】 患者さんのチェックリスト(下敷きタイプ)用のアンケートの鏡文、評価シートのたたき台をもとに進め、配布先の確認後医師向けの研修会などでのアンケート実施を検討していく。

【施策10】 セカンドオピニオンリストの作成・公開(協議会HP)終了。

【施策 11】9/19 に、県庁医務課を訪問し、都道府県部会の報告、研修会の相談などの活動を報告。
来年度のピアリングなど人員要求などで、資料が必要であれば、協議会・県に提案した資料を活用していただきたい。

2. その他

(1) 【施策 1 関連】 がんサポートハンドブック第 4 版の「就労」に関する別冊の作成

大久保委員より、がんサポートハンドブックは、がん患者さん・ご家族向けの冊子であるが、今年度は、就労支援に向け、「がんになっても働けます」という就労支援の啓発を重きに置いた内容で、県内の事業所 2 万ヶ所への配布に向けて、リーフレットを作成する。来年度以降は、当部会ではなく、就労支援団体などに主体となってもらい完成版に向けて進めていくとの報告があった。相談支援センターの記載、相談室からの情報やノウハウの提供についても盛り込んでどうかなどが協議された。

(2) 【施策 3】 小児がん交流会について

永吉委員より、交流会への参加について院内にも広めていきたいが参加についてはどうかとの質問があった。上原委員より、今のところは経験者の方の集まりなので、いずれは闘病中の子供たちなどにお話しをすることもあるかと思うが、もう少し会がまとまってからになるだろうとの説明があった。

(3) ハートライフ病院「多発性骨髄腫の患者会」について

11/9 に第 2 回目を実施予定であり、2~3 ヶ月に 1 回程度の開催予定。

(4) 北部地区医師会病院より

10/25 の琉大病院での研修会に 2 名参加するとのこと。また、ゆんたく会をまだ開催していないので、色々と勉強しながら進めていけたらと考えているとの意見があった。

(5) 宮古病院より

ゆんたく会も、どのように進めていったらいいのかわからないので、情報収集して勉強していききたいとの意見があった。

(6) 増田委員より

来年度の学会活動に関して、部会で相談していただき、発表に向けて検討いただきたいとの意見があった。望月委員よりハートライフ病院⇒年に 1 題は発表するようにしていること、増田委員より、会活動内容を部会員によって発表する場合、病院名と部会名を明記しての発表を行っている部会もあるとの説明があった。

部会活動における学会発表については、各自が今まで参加・発表した学会をもとに、素案を作り部会委員の間で検討していくことが了承された。

3. 次回、第 4 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日： 平成 25 年 2 月 20 日（木）

第 2 候補日： 平成 25 年 2 月 27 日（木）

* サポートハンドブックの進捗状況によって調整を行う。